

# 岩手県感染症週報

平成17年第51週（12月19日～12月25日）

岩手県結核 感染症情報センター

## 第51週の概要

1 類感染症

3 類感染症

4 類感染症

5 類感染症（全数把握対象疾患）

・患者発生の報告はありませんでした。

2 類感染症

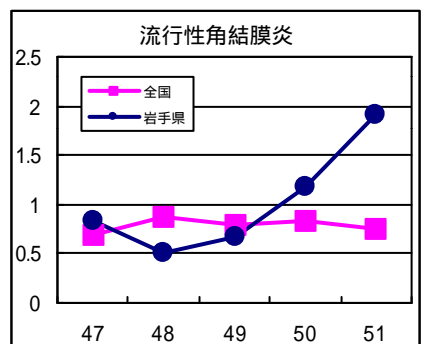
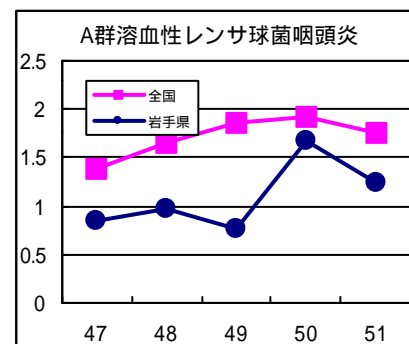
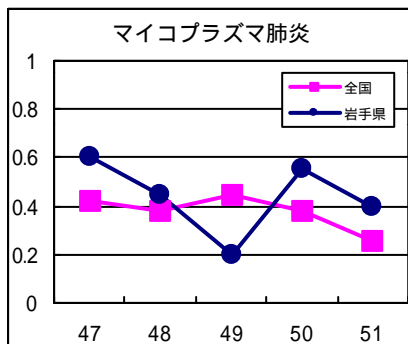
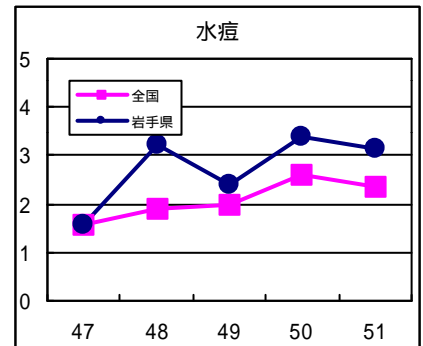
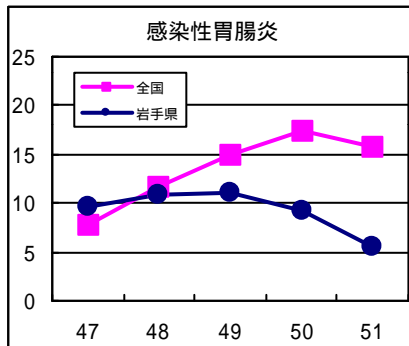
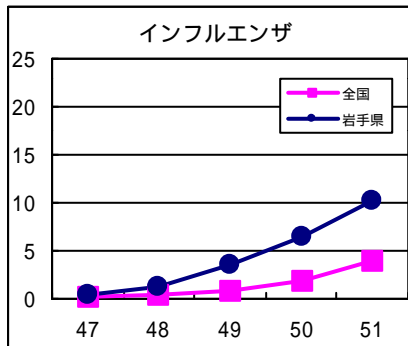
・細菌性赤痢の患者発生報告が4例ありました。初発患者は90歳代の女性で、この患者との接触による感染が疑われています。

5 類感染症（定点把握対象疾患）

- ・インフルエンザは、県央地域を中心に増加を続けています。この週には盛岡、花巻地区に引き続き、一関地区が注意報値（定点当たり患者数10.0人）を超えています。県環境保健研究センターの病原体検査では、患者からA香港型インフルエンザウイルスが検出されています。感染の予防には、空気の乾燥を防ぐことやうがい、手洗いが有効です。また、急な発熱や全身症状が現れるなど、インフルエンザに罹患したと思われるときは、早めに医療機関を受診することが大切です。
- ・感染性胃腸炎は、すべての地区で患者が減少しており、流行のピークは越えたものと思われます。しかし、この時期の主要な病原体であるノロウイルスは、感染力が非常に強く、容易に集団感染を引き起こすので注意が必要です。また、生カキの生食による感染事例も頻発しているため注意が必要です。
- ・溶レン菌咽頭炎は北上地区で患者数が増加しており、この週には定点当たり患者数が8.0人と警報値（同患者数4.0人）を超えています。
- ・水痘は、前週に患者数の多かった花巻、水沢地区でやや減少しました。
- ・流行性角結膜炎は、この数週上昇傾向にあり、今後注意が必要です。

## 最近の注目疾患（定点あたり患者数の過去5週の動き）

（疾患によって目盛りのスケールが違うことに注意）



定点把握対象疾患（過去5週の動き）

（定点あたり患者数）

疾病名	地域	週					流行傾向	
		47	48	49	50	51		
インフルエンザ	岩手県	0.48	1.3	3.59	6.51	10.24	↗	
	全国	0.24	0.41	0.91	1.88	4		
咽頭結膜熱	岩手県	0.05	0	0.03	0	0.03	→	
	全国	0.27	0.35	0.36	0.42	0.41		
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	岩手県	0.85	0.97	0.77	1.67	1.23	→	
	全国	1.38	1.66	1.85	1.92	1.75		
感染性胃腸炎	岩手県	9.67	10.95	11.15	9.13	5.51	↘	
	全国	7.87	11.75	14.89	17.44	15.87		
水痘	岩手県	1.56	3.23	2.38	3.38	3.15	→	
	全国	1.55	1.9	1.99	2.59	2.36		
手足口病	岩手県	0.41	0.23	0.36	0.49	0.54	→	
	全国	0.27	0.21	0.23	0.23	0.17		
伝染性紅斑	岩手県	0.08	0.1	0.08	0.13	0.08	→	
	全国	0.17	0.19	0.21	0.23	0.18		
突発性発疹	岩手県	0.41	0.31	0.59	0.44	0.38	→	
	全国	0.65	0.66	0.66	0.59	0.55		
百日咳	岩手県	0	0	0	0	0	→	
	全国	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01		
風疹	岩手県	0	0	0	0.03	0	→	
	全国	0	0	0	0	0		
ヘルパンギーナ	岩手県	0.28	0.23	0.15	0.33	0.08	→	
	全国	0.1	0.09	0.07	0.05	0.04		
麻疹（成人麻疹を除く）	岩手県	0	0	0	0	0	→	
	全国	0	0	0	0	0		
流行性耳下腺炎	岩手県	0.46	1.03	0.69	0.64	0.44	→	
	全国	1.31	1.53	1.48	1.46	1.55		
急性出血性結膜炎	岩手県	0	0	0	0	0	→	
	全国	0.02	0.02	0.01	0.01	0.02		
流行性角結膜炎	岩手県	0.83	0.5	0.67	1.17	1.92	↗	
	全国	0.69	0.87	0.79	0.84	0.75		
RSウイルス感染症（患者報告数）	岩手県	0	1	0	2	0	→	
	全国	853	1379					
細菌性髄膜炎	岩手県	0	0	0	0	0	→	
	全国	0	0.01	0.01	0.01	0.01		
無菌性髄膜炎	岩手県	0	0	0	0	0	→	
	全国	0.02	0.02	0.02	0.01	0.01		
マイコプラズマ肺炎	岩手県	0.6	0.45	0.2	0.55	0.4	→	
	全国	0.42	0.38	0.45	0.38	0.26		
クラミジア肺炎（オウム病を除く）	岩手県	0	0	0	0	0	→	
	全国	0.01	0.01	0.01	0.01	0.02		
成人麻疹	岩手県	0	0	0	0	0	→	
	全国	0	0	0	0	0		

【流行傾向の見方】

- 無印 : ほとんど患者が発生していません
- : 患者が発生しています
- ↗ : 警報値を超えた地区が1～2地区あります
- ↘ : 多くの地区で警報値を超えています

全数把握対象疾患（過去5週の動き）		（患者発生数）							
分類	疾病名	岩手県					全国		
		(週) 47	48	49	50	51	累計	51	累計
一類 感染症	エボラ出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	クリミア・コンゴ出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	ペスト	0	0	0	0	0	0	0	0
	マールブルグ病	0	0	0	0	0	0	0	0
	ラッサ熱	0	0	0	0	0	0	0	0
二類 感染症	コレラ	0	0	0	0	0	0	1	53
	細菌性赤痢	0	0	0	0	4	6	6	550
	腸チフス	0	0	0	0	0	0	0	49
	パラチフス	0	0	0	0	0	0	0	18
	急性灰白髄炎	0	0	0	0	0	0	0	0
	ジフテリア	0	0	0	0	0	0	0	0
三類	腸管出血性大腸菌感染症	0	1	0	0	0	84	26	3555
四、 五類 感染症	アメーバ赤痢	0	0	0	0	0	2	3	673
	エキノкокクス症	0	0	0	0	0	0	0	18
	黄熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	オウム病	0	0	0	0	0	1	0	33
	回帰熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	急性ウイルス性肝炎	0	0	0	0	0	3	1	272
	Q熱	0	0	0	0	0	0	0	8
	狂犬病	0	0	0	0	0	0	0	0
	クリプトスポリジウム症	0	0	0	0	0	0	0	9
	クロイツフェルト・ヤコブ病	1	0	0	0	0	4	1	146
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	0	0	0	0	0	1	2	57
	後天性免疫不全症候群	0	0	0	0	0	4	12	1137
	コクシジオイデス症	0	0	0	0	0	0	0	5
	ジアルジア症	0	0	0	0	0	0	1	80
	腎症候性出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	髄膜炎菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	10
	先天性風疹症候群	0	0	0	0	0	0	0	2
	炭疽	0	0	0	0	0	0	0	0
	ツツガムシ病	0	0	0	0	0	7	9	310
	デング熱	0	0	0	0	0	0	0	72
	日本紅斑熱	0	0	0	0	0	0	0	61
	日本脳炎	0	0	0	0	0	0	0	7
	乳児ボツリヌス症	0	0	0	0	0	0	0	0
	梅毒	0	0	0	0	0	3	8	544
	破傷風	0	0	0	0	0	1	0	113
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	0	0	0	0	0	0	0	64
	ハンタウイルス肺症候群	0	0	0	0	0	0	0	0
	Bウイルス病	0	0	0	0	0	0	0	0
	ブルセラ症	0	0	0	0	0	0	1	2
	発疹チフス	0	0	0	0	0	0	0	0
	マラリア	0	0	0	0	0	0	0	66
	ライム病	0	0	0	0	0	0	0	8
	レジオネラ症	0	0	0	0	0	1	3	272
ウエストナイル熱	0	0	0	0	0	0	0	0	

昨年11月5日に感染症法が改正されたことに伴い、調査対象疾患が一部改正されましたが、本週報では当面の間、改正前の分類による情報をお届けしております。  
できるだけ早い時期に、新しい分類による情報をお届けするよう準備していますので、ご了承ください。

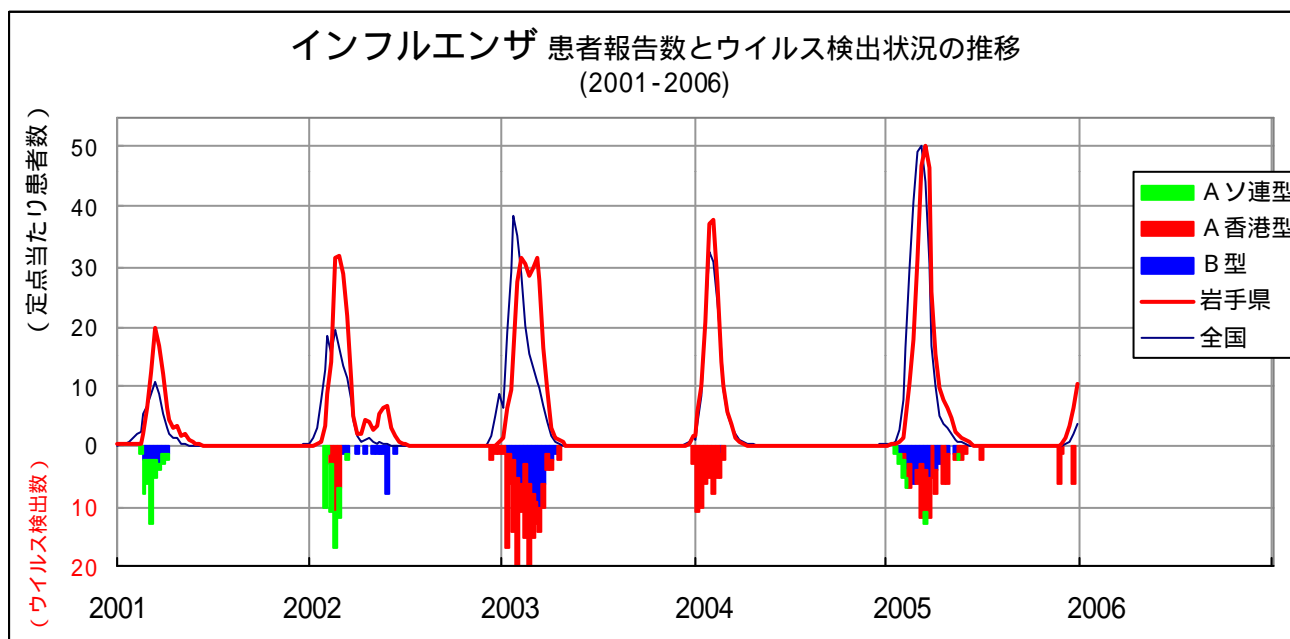
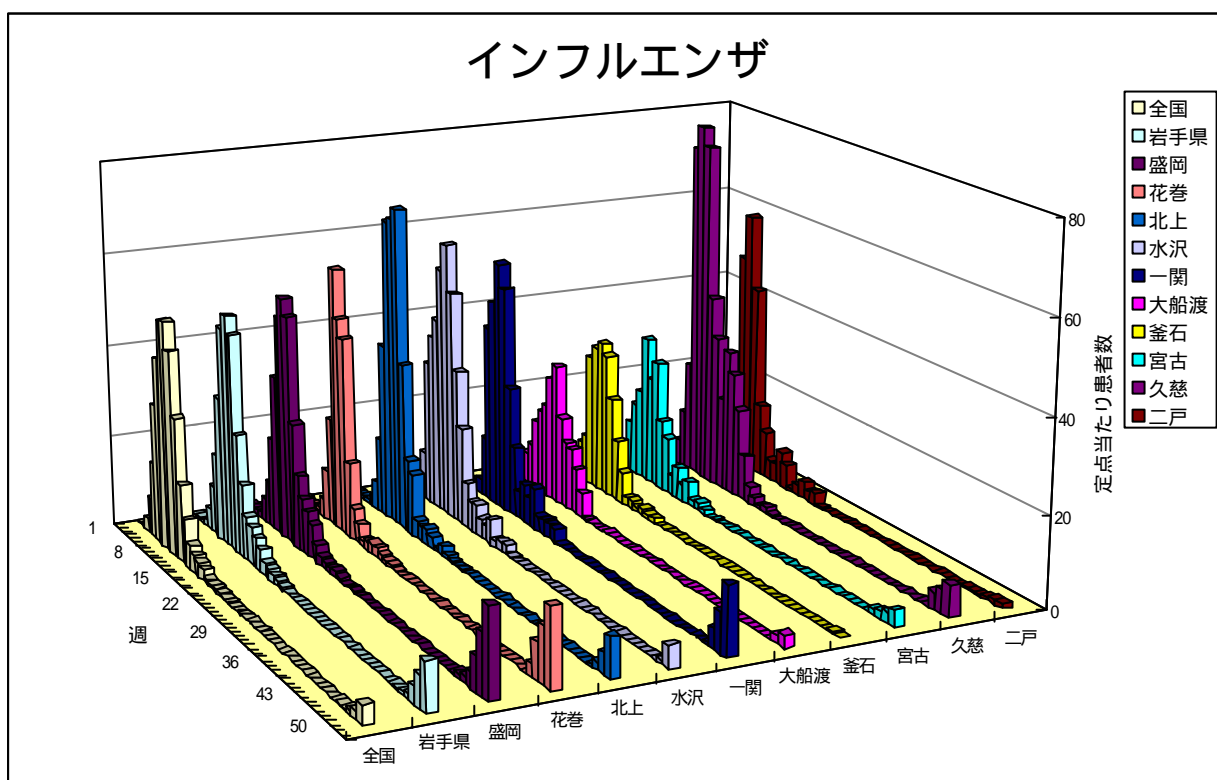
今注目の感染症

インフルエンザ

インフルエンザは、例年、12月頃から患者数が増え始め、2～3月が流行のピークであるが、今シーズンは、盛岡地区では、11月に集団感染による学校閉鎖措置がとられた小学校もあり、例年よりも早い流行状況となっている。

今後の流行状況はまだ不明であるが、65歳以上の高齢者の方や気管支喘息や慢性心不全などの基礎疾患のある方、1歳以上の幼児などは早めに予防接種を受けることが大切である。

昨シーズンは、A香港型、Aソ連型、B型の3種類のインフルエンザウイルスが同時に流行したが、今シーズンは、11月中にA香港型インフルエンザウイルスが分離検出されている。



## 病原体検出情報

- ・感染性胃腸炎の患者の便からノロウイルス遺伝子型IIを5例検出しました。
- ・インフルエンザの患者の咽頭拭い液からA香港型インフルエンザウイルスを6例分離検出しました。

## 医療機関からの情報

- ・この週には医療機関からの情報はありません。

## 集団感染情報

インフルエンザ様疾患による施設閉鎖措置等の状況（1/4まで）

岩手県	盛岡	花巻	北上	水沢	一関	大船渡	釜石	宮古	久慈	二戸
16	12	2	0	1	0	0	0	0	1	0

### 感染性胃腸炎の集団発生について

12月22日以降に報告のあった感染性胃腸炎の集団発生事例は以下のとおりです。

久慈市内の障害者福祉施設（入所者55名、職員50名）

- ・12/13～20日 入所者9名、職員4名に下痢、嘔吐等の症状を確認
- ・12/22有症者7名中6名からノロウイルスを検出

盛岡市内の高齢者福祉施設（入所者50名、職員5名）

- ・12/17～22日 入所者16名、職員1名に下痢、嘔吐等の症状を確認
- ・12/22有症者6名全員からノロウイルスを検出

平泉町内の小学校のスポーツ合宿参加者の児童

- ・12/24～28日 児童8名、教員1名、児童の家族1名に下痢、嘔吐等の症状を確認
- ・12/28有症者5名中4名からノロウイルスを検出

陸前高田市内の高齢者施設（入所者90名、短期入所者14名、職員74名）

- ・12/26～1/4 入所者28名、職員14名に下痢、嘔吐等の症状を確認
- ・1/3有症者15名中12名からノロウイルスを検出

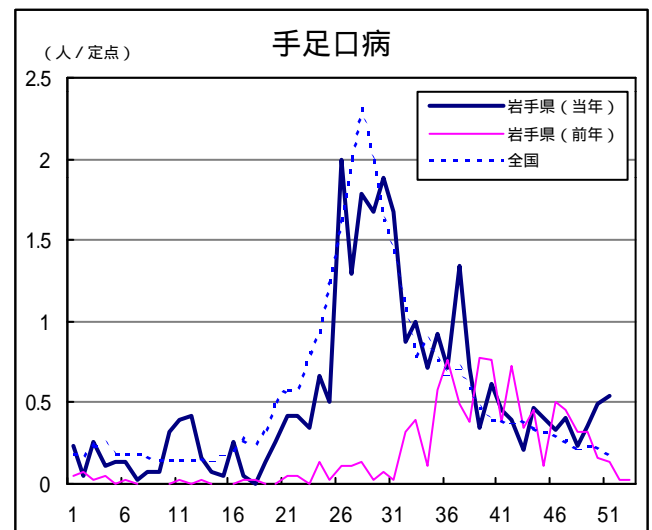
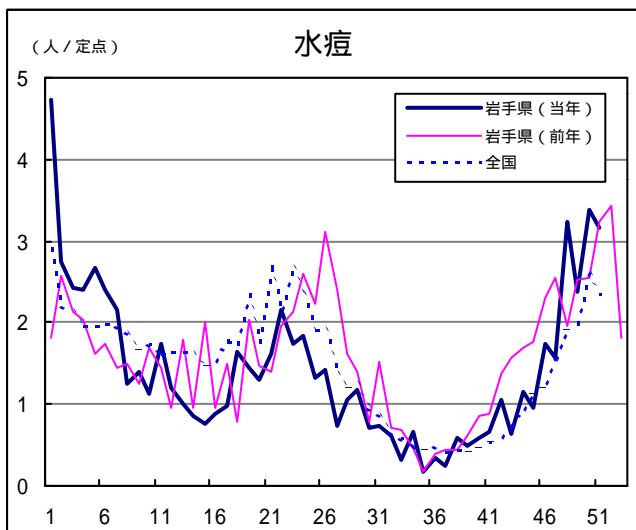
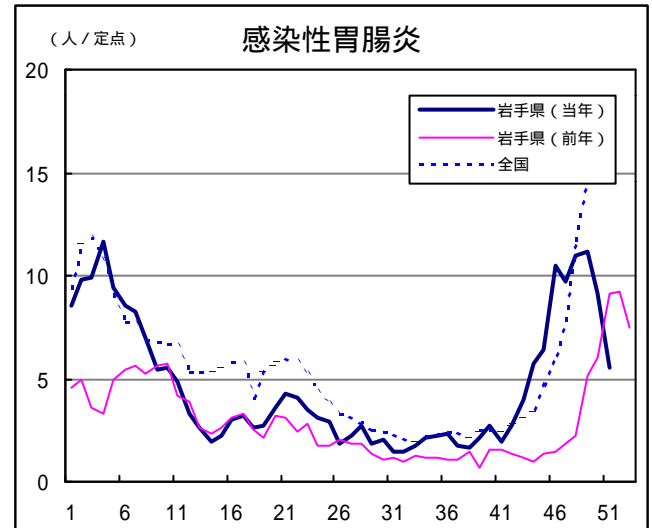
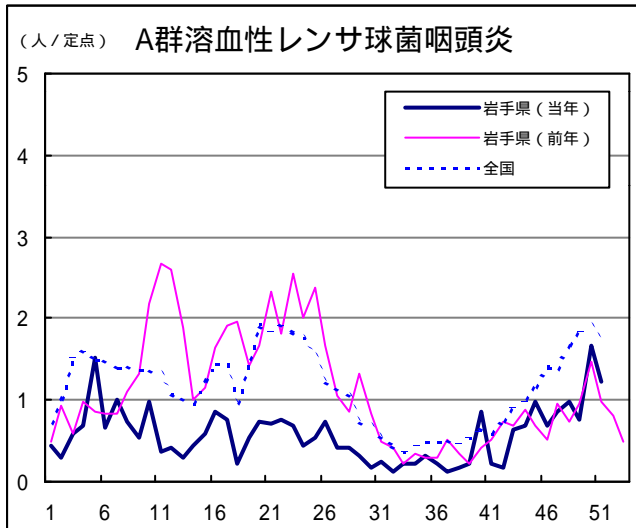
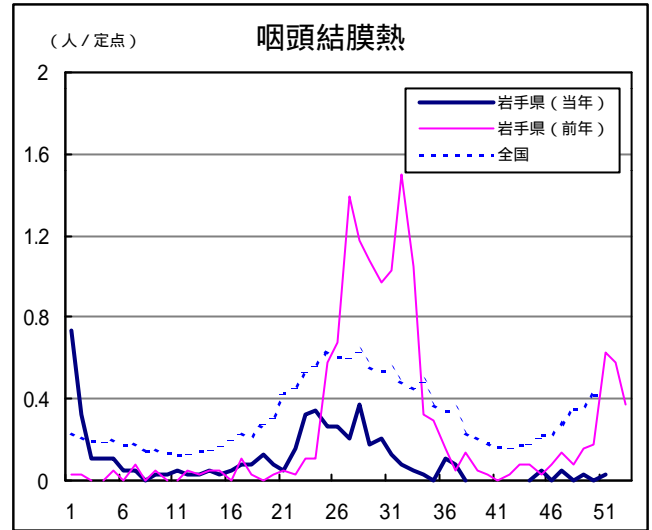
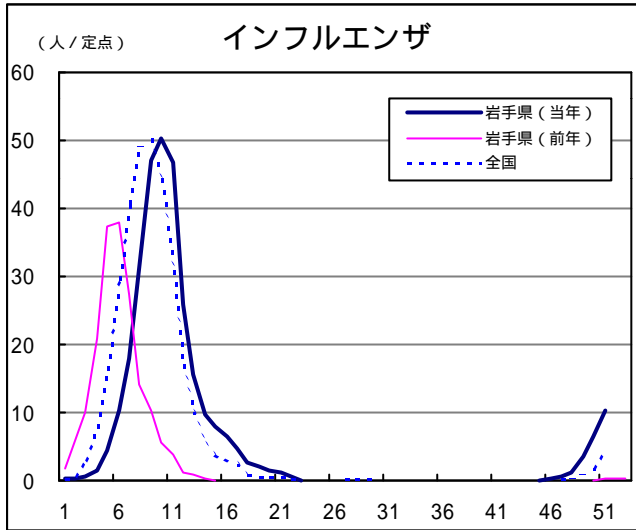
いずれの事例も食中毒の可能性は否定されており、ノロウイルスのヒトからヒトへの感染による集団感染事例である可能性が高い。管轄する保健所では二次感染予防対策について指導するとともに引き続き感染原因等を調査中。

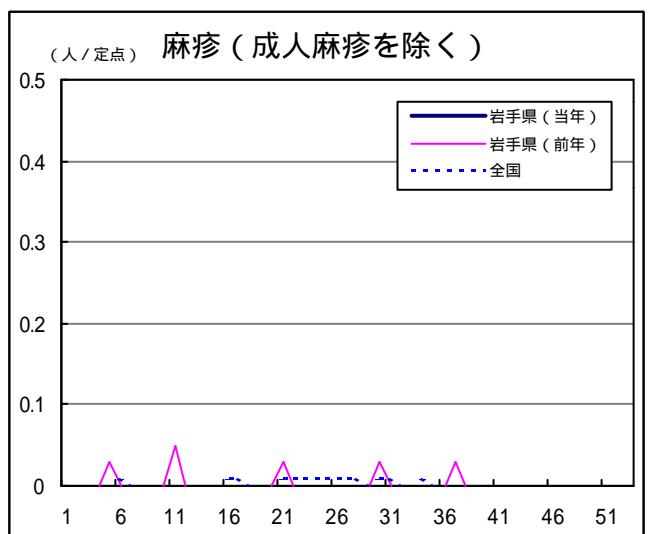
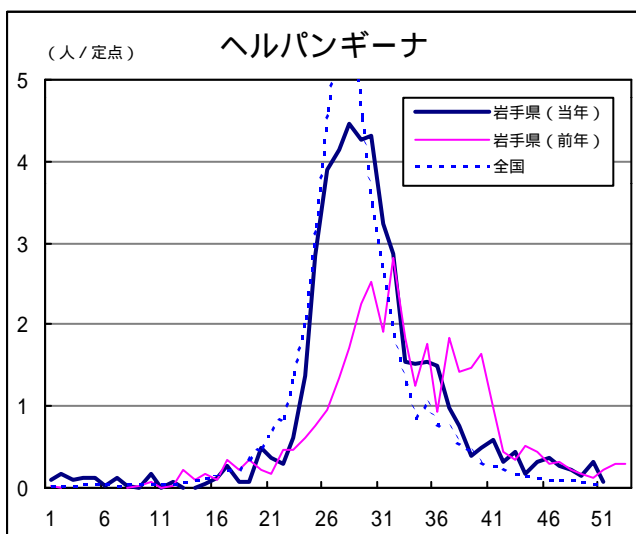
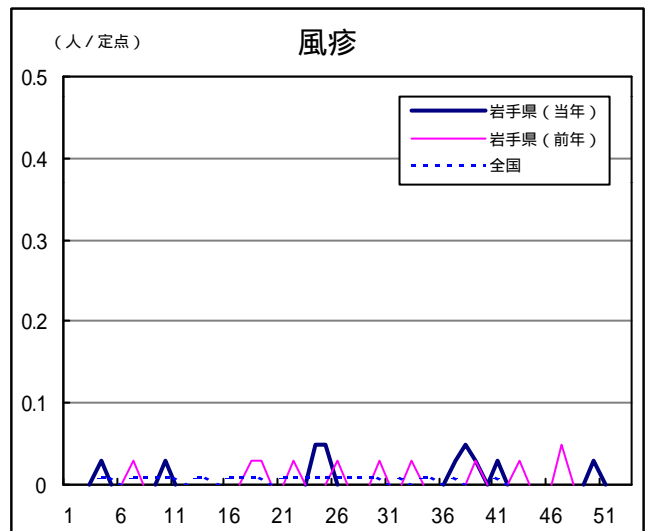
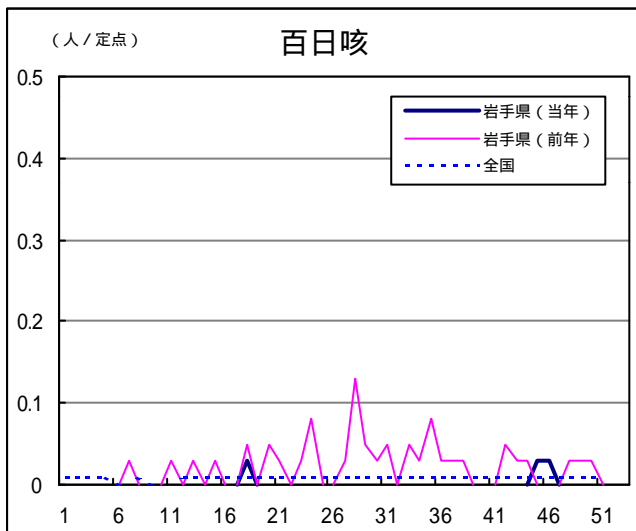
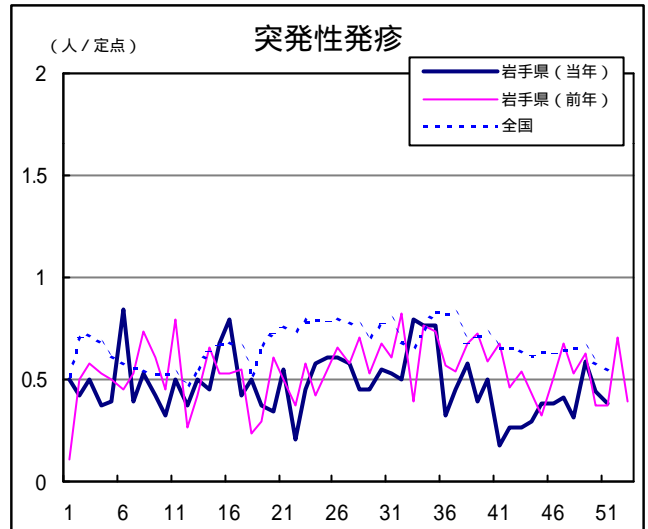
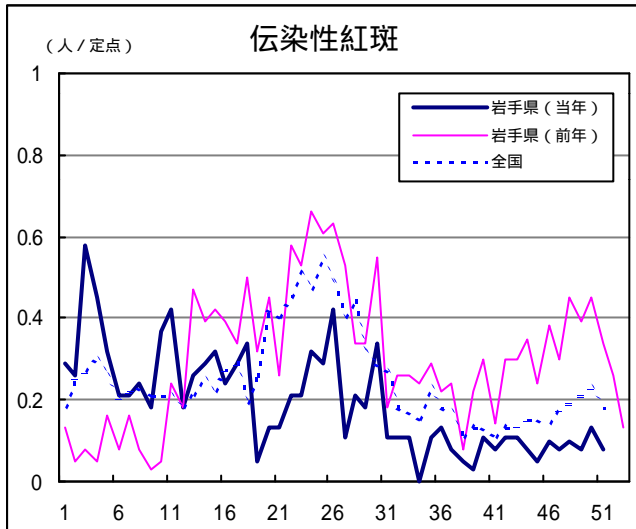
## Q & A

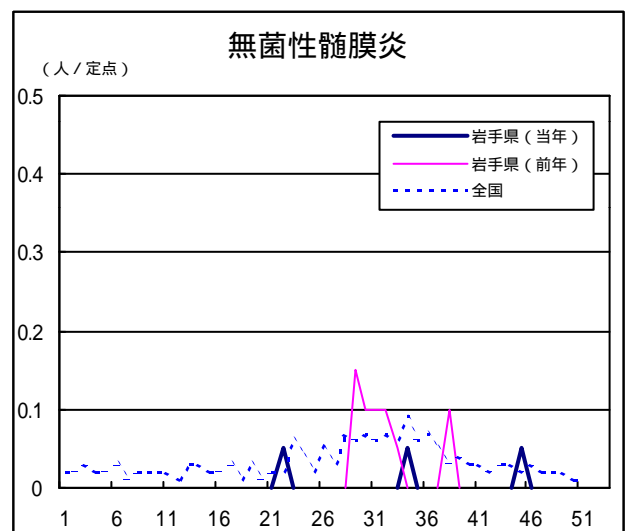
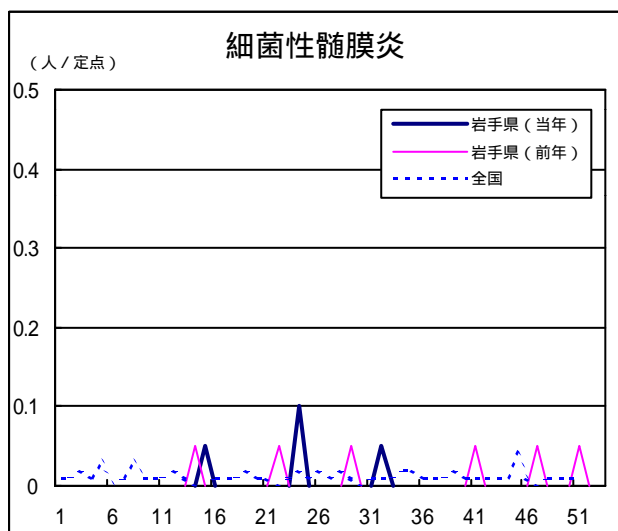
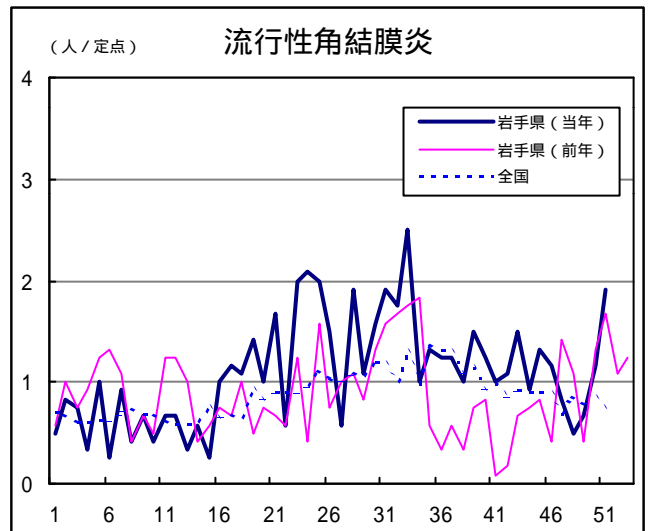
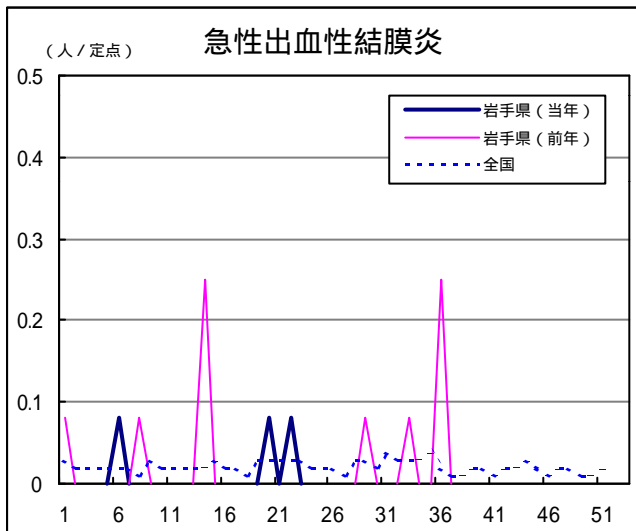
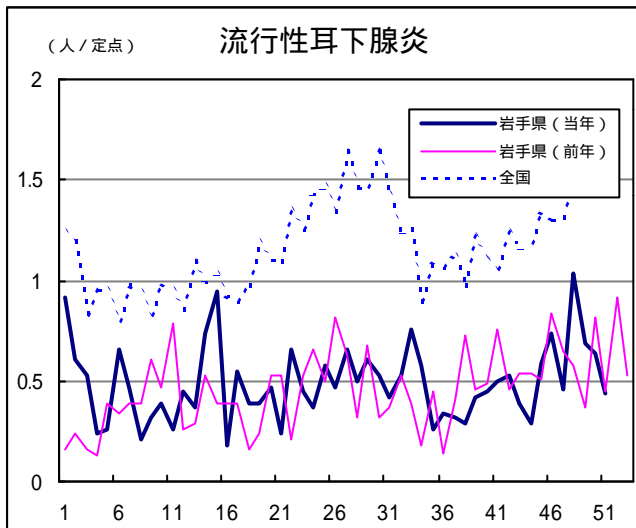
読者の皆様からのご質問にはこの欄でお答えします。

医療機関からの情報や読者の皆様からのご質問は下記の宛先までお寄せください。  
 岩手県結核・感染症情報センター（岩手県環境保健研究センター保健科学部内）  
 〒020-0852 岩手県盛岡市飯岡新田1-36-1  
 TEL:019-656-5669（直通） FAX:019-656-5667  
 E-mail: CC0019@pref.iwate.jp

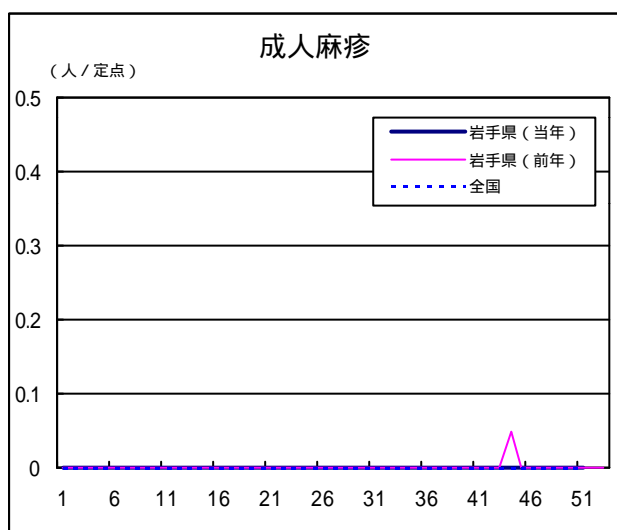
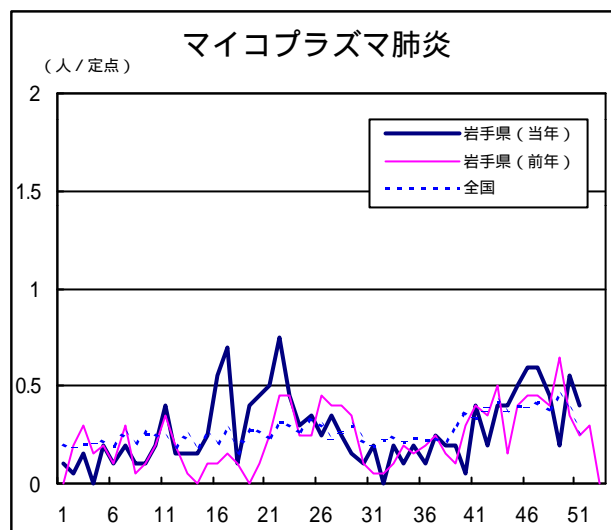
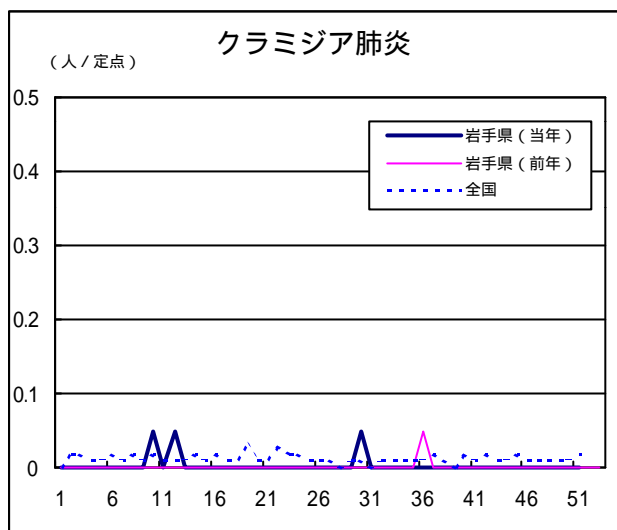
疾病別グラフ（定点あたり患者数の推移）











定点医療機関の数

地区	インフルエンザ	小児科定点	眼科定点	基幹定点
岩手県	63	39	12	20
盛岡	17	11	3	5
花巻	5	3	1	2
北上	5	3	1	2
水沢	7	4	1	2
一関	7	4	1	2
大船渡	6	4	1	1
釜石	5	3	1	2
宮古	5	3	1	1
久慈	3	2	1	1
二戸	3	2	1	2

岩手の感染症情報を毎週メールでお届けする  
**「岩手県感染症情報ウィークリーマガジン」**を配信しています。  
 配信の登録は以下のURLからお願いします。  
<http://www.pref.iwate.jp/~hp1353/kansen/mailmagazine.html>

岩手県感染症週報 平成17年第51週 平成18年1月6日発行  
 監修：岩手県結核・感染症発生動向調査委員会  
 発行：岩手県環境保健研究センター  
 岩手県保健福祉部保健衛生課  
 事務局：岩手県結核・感染症情報センター  
 （岩手県環境保健研究センター保健科学部内）  
 〒020-0852 岩手県盛岡市飯岡新田1-36-1  
 TEL:019-656-5669（直通） FAX:019-656-5667  
 E-mail: CC0019@pref.iwate.jp  
 URL: <http://www.pref.iwate.jp/~hp1353/kansen/>  
 <岩手県結核・感染症情報センター>  
<http://www.pref.iwate.jp/~hp0360/>  
 <岩手県保健福祉部保健衛生課>